

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【公表番号】特表 2003-525959 (P2003-525959A)
 【公表日】平成 15 年 9 月 2 日 (2003.9.2)
 【出願番号】特願 2000-577219 (P2000-577219)
 【国際特許分類】

C 0 8 G 64/20 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 64/20

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 10 月 2 日 (2006.10.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コポリカーボネートの製造方法であって、

(I) 前駆体ポリカーボネート (A) を、成分 A に存在するもの以外の構造単位でコポリカーボネート中に組込むべき構造単位のもの又はポリマー原料 (B) と接触させる段階であって、当該接触を、成分 A と成分 B の反応を促進する条件下で行って、成分 B の構造単位が組込まれた前駆体コポリカーボネートを形成する段階、

(II) 段階 I の前又は後に、成分 A、成分 B 又は前駆体コポリカーボネートを結晶化度の向上したポリカーボネートへと変換する段階、及び

(III) 段階 II の後、段階 I と同時又は段階 I の後に、結晶化度の向上したコポリカーボネートを固相重合に付す段階
 を含んでなる方法。

【請求項 2】 成分 B がモノマー原料である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 成分 B がジヒドロキシ芳香族化合物である、請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】 成分 B が 6, 6 - ジヒドロキシ - 3, 3, 3, 3 - テトラメチル - 1, 1 - スピロ (ビス) インダンである、請求項 3 記載の方法。

【請求項 5】 成分 B がポリオキシアルキレングリコールである、請求項 2 記載の方法。

【請求項 6】 成分 B が 150 ~ 50000 の数平均分子量を有するポリエチレングリコールである、請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】 成分 B が 25 のクロロホルム中で測定して 0.06 ~ 0.30 dl / g の固有粘度を有するオリゴマー状ホモポリカーボネート又はコポリカーボネートである、請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】 成分 B が高分子量ホモポリカーボネート又はコポリカーボネートである、請求項 1 記載の方法。

【請求項 9】 成分 A が 25 のクロロホルム中で測定して 0.06 ~ 0.30 dl / g の固有粘度を有するオリゴマー状ポリカーボネートであって、当該オリゴマー状ポリカーボネートがジヒドロキシ芳香族化合物及びポリオキシアルキレングリコールの 1 種類以上から誘導された構造単位を含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 10】 成分 A がビスフェノール A ポリカーボネートである、請求項 9 記載の方法。

【請求項 11】 成分 A がジヒドロキシ芳香族化合物及びポリオキシアルキレングリ

コールの１種類以上から誘導された構造単位を含む高分子量ホモポリカーボネート又はコポリカーボネートである、請求項１記載の方法。

【請求項１２】 成分ＡがビスフェノールＡポリカーボネートである、請求項１１記載の方法。

【請求項１３】 段階Ⅰの条件が１７０～２５０の温度を含む、請求項１記載の方法。

【請求項１４】 段階Ⅰで触媒を使用する、請求項１３記載の方法。

【請求項１５】 前記触媒が塩基又はルイス酸である、請求項１４記載の方法。

【請求項１６】 段階Ⅰの条件が溶融重合条件である、請求項１３記載の方法。

【請求項１７】 段階Ⅰの条件が平衡化条件である、請求項１３記載の方法。

【請求項１８】 段階Ⅰの間成分Ｂを漸増的に導入する、請求項１３記載の方法。

【請求項１９】 ジアリアルカーボネートを成分Ｂと共に導入する、請求項１３記載の方法。

【請求項２０】 段階Ⅰの前に段階Ⅱを行い、段階Ⅱで成分Ａ又は成分Ｂを結晶化度の向上したポリカーボネートへと変換する、請求項１３記載の方法。

【請求項２１】 段階Ⅰの後に段階Ⅱを行い、段階Ⅱで前駆体コポリカーボネートを結晶化度の向上したポリカーボネートへと変換する、請求項１３記載の方法。

【請求項２２】 段階Ⅱを段階Ⅰと同時に行う、請求項１３記載の方法。

【請求項２３】 段階Ⅲを段階Ⅰに続いて行う、請求項１３記載の方法。

【請求項２４】 段階Ⅲで触媒を使用する、請求項１３記載の方法。

【請求項２５】 段階Ⅲの触媒が段階Ⅰで使用した触媒と同じである、請求項２４記載の方法。